

学校整備の在り方に関する基本方針 パブリックコメント結果

- ・募集期間：令和8年6月5日～令和8年7月5日
- ・意見提出者：6名（意見数：46件）
- ・募集結果：ご意見に基づき一部修正を行いました。基本的な考え方についてはアンケートや地域コミュニティへのヒアリング結果に基づき、修正はしないこととしております。

提出日時	住所	性別	意見・回答
6月20日	敬川町	男性	【ご意見】 中学校は社会性を学ぶためクラブ活動の人数確保の観点から、ある程度の規模があった方が良く思うので。今後、江津中学校への1校集約が望ましいと思います。（通学手段を考えると江津中学校、青陵中学校の2校を残すのが無難かと思いましたが、生徒数の減少を考慮して。空いた校舎の活用方法は悩ましいですね、スタバを誘致しましょうか。） 小学校は桜江、江津東がどこまで残せるか、郷田の統合はやむなしといった感想です。
			【回答】 中学校の適正規模化につきましては、集団の中で社会性を養うことや部活動の選択肢を確保することの重要性を認識する一方で、通学手段の確保といった通学環境への配慮も不可欠であると考えており、1校集約と複数校維持の双方の視点から慎重に検討を進めております。 小学校の統廃合についても、地域の状況や児童数の動向を勘案しつつ、子どもたちの良好な教育環境の確保に向けて取り組んでまいります。江津市全体での教育の質の向上を目指し、子どもたちがより良い環境で学べるよう、現在策定中の第3次江津市学校整備再編基本計画に反映していきたいと考えております。 なお、閉校後の校舎・跡地の利活用につきましては、地域の活性化やコミュニティの維持に資するよう幅広い選択肢を視野に入れ、今後検討を行ってまいります。
6月23日	黒松町	女性	【ご意見】 アンケート調査結果の保護者の回収率が55%程度なのが少し気になりました。どの範囲でのアンケートかわかりませんが、中学生の保護者さんは回答しなくてももういいといった感じでしょうか。それだけ再編の取り組みが遅いのだと思います。江津東、江東中学校は我が子通っていた頃の10年以上前から生徒数の減少あり、生徒数もですがクラスの男女比にも問題がありました。また、長ければ保育園から11年間同じ顔ぶれでクラス替えもないなど、色々な面で市内での教育格差もあったように思います。もちろんよい面は沢山ありましたが、今の子どもたちには待ったなしでより良い環境が早く実現出来る事を望みます。また、比較的人数の多い学校区の保護者さんはこのままで良いとの回答が多いようでしたか、江津市全体の子どもの少ない状態なので数年先はわかりません。江津市全体で子どもたちの教育環境をより良く整えて頂けたらなど思います。
			【回答】 保護者を対象とするアンケートの回収率は、全体で55%程度となりました。これは、対象者数の多い一部の小学校区において回収率が伸び悩んだことが主な要因と考えられます。 また、児童・生徒数の減少や教育環境の格差についてのご指摘も重く受け止めています。ご指摘の通り、少人数の学校ならではの良さもありますが、少人数ゆえの課題や長期間同じ人間関係の中での学びが続くこと、男女比やクラス替えの有無など、保護者の皆さまが実際に感じておられる課題があるかと思えます。地域特性など様々な問題もありますが、江津市全体での教育の質の向上を目指し、子どもたちがより良い環境で学べるよう、現在策定中の第3次江津市学校整備再編基本計画に反映していきたいと考えております。

7月3日	後地町	女性	【ご意見】 子どもの数が減少していくと適正規模ということで学校の統廃合が次々と進められていくことに大変危惧しています。子どもの人数が少なくても地域に学校があり、地域全体の子どものとして成長発達していくことが、子どもには大きな意味を持っていると考えているからです。 また、子どもの人数が少なければ一人ひとりの学びの保障も十分にできます。人数が少なければ、子どもの活躍の場は嫌でも多くなります。一人一人が学校生活の主人公にならざるを得ません。このことは教育で大切な、①学力の保障、②人格形成の完成を目指すという目標の点からも重要と考えます。 自然豊かな江津で子どもを育てたいという若い人たちが、地域に学校がなければ定住も難しくなります。地域の伝統や歴史を持つ地域の学校は、地域文化の拠点とも言えます。地域の学校をなくさないでください。
7月4日	嘉久志町	男性	【ご意見】 小学校名、中学校名の並び順について P9表4-2の小学校名について、中部の小学校（郷田小、渡津小、高角小）は今後の統廃合の検討対象であることから、この3校の校名はP10表4-4のような連続した並びで表記したほうが、児童生徒数の合計値を計算する上でも分かりやすくなると思います。 また、P25～27にかけて、小学校と中学校のグラフがありますが、校名の並びが統一されておらず、比較する際に非常に分かりにくくなっています。 校名の並び順は資料をとおして統一してください。 【回答】 ご意見を踏まえ、表4-2については、並び順を入れ替えました。また、P25～27の校名の並び順も統一しました。 【ご意見】 基本方針の位置づけについて（P1(2)） 江津市公共施設等総合管理計画（令和8年3月）p.5の表1-1対象施設分類の中に学校教育系施設があります。同計画ではP32、P33、P46～49には学校に関する記述（防災、医療等との連携など）があり、関連性の高い計画だと感じました。 また、P33「(2)地域の実態に応じた学校の適正配置について」では「その地域の公共交通機関を含めて検討したりするなどの工夫も行って」いくとあります。江津市地域公共交通計画では、スクールバスに関する記述があり、これも関連性の高い計画だと感じました。 P1の表外でもよいので「その他関連のある計画」として江津市公共施設等総合管理計画や江津市地域公共交通計画を記載してはいかがでしょうか。 【回答】 江津市公共施設等総合管理計画及び江津市地域公共交通計画は、学校施設の整備や維持管理、学校を取り巻く公共交通環境などの観点から、本基本方針との関連性が高い計画であると認識しております。これらの計画についても「その他関連する計画」等として記載しました。

7月4日	嘉久志町	男性	【ご意見】 中長期的な児童・生徒数の「学校別の推移」について（P8） 将来予測については図4-2、4-3のとおりですが、2019年以前の学校別の児童・生徒数の推移を掲載できないでしょうか。P6には市全体の推移と推計（H18～R10）が掲載されていますが、学校別の推移は増加、横ばい、減少と様々です。これ以降のページにおいて、学級数についての調査結果等があることから、少なくとも前回の基本方針策定時（平成20年度）からの、学校別の児童・生徒数の推移を掲載いただきたいです。グラフは横長にして、図4-2、図4-3を分割すれば作成・掲載は可能と思われます。
			【回答】 ご意見を踏まえ、前回基本方針策定時以降の学校別の児童・生徒数の推移を追加するとともに、誌面構成を見直し、より分かりやすい資料となるよう修正しました。
			【ご意見】 図4-2および図4-3の表現について（P8） 1 ページに4つのグラフがあり、一覧性はあるが凡例の校名や折れ線グラフの数値の字が小さく読みにくく感じました。図4-2は小学校と中学校に分け、図4-3も同様に分け、1 ページにまとめず複数ページに渡って記載し、図内の文字が読めるサイズになるように改善できないでしょうか。
			【回答】 ご意見を踏まえ、文字が読みやすい大きさになるよう修正しました。
			【ご意見】 図4-2および図4-3の児童数長期推計結果について（P8） P4にある「中部の小学校」を今後検討していく材料として、図4-2と図4-3の児童数のグラフに「中部の小学校」の折れ線グラフを追加してはいかがでしょうか。中部の小学校3校（郷田、渡津、高角）が仮に合併した際の児童数の規模感が分かりやすくなると思います。その際、まだ完成していない西部統合小学校と中部の小学校は点線にすることで、実在する小学校との見分けが付きやすくなると思います。
			【回答】 本資料の児童数長期推計は、各学校の将来の児童数の見通しを示すことを目的としており、個別の学校ごとの推計を基に学校整備の方向性を検討するための基礎資料として整理しています。このため、「中部の小学校」を想定した推計値は掲載せず、各学校の推計結果を基に検討を進める構成としています。
			【ご意見】 表4-2（令和8年度の児童生徒数）について（P9） 学級数は各校の合計値のみですが、学年ごとの学級数を表示してはいかがでしょうか。P25以降の望ましい学級数のアンケート調査結果の内容を検討する際にも参考になるからです。
			【回答】 ご意見を踏まえ、学年ごとの学級数も追記しました。
			【ご意見】 複式学級について（P9） 当該ページ下部に各小学校における複式学級の発生見込みがありますが、1学年あたりの児童数が何人になると複式学級になる見込みがあるのか、児童数の基準を示した方が分かりやすいと思います。併せて、その根拠となる法律名や資料名も明記してはいかがでしょうか（おそらく、小学校設置基準（文部科学省令第4条、第5条）や、文部科学省（2012）「少人数学級の推進など計画的な教職員定数の改善について：子どもと正面から向き合う教職員体制の整備」の基礎資料「学級編制の仕組みと運用について（義務）」に示される「複式学級（2個学年で小学校16人）」が根拠と思われます）。
			【回答】 ご意見を踏まえ、複式学級の編制基準及び根拠を追記し、複式学級発生見込みの考え方が分かるよう修正しました。

7月4日	嘉久志町	男性	【ご意見】 図4-6の島根県データについて（P15） 島根県学校教育課が公表している「令和6年度生徒指導上の諸課題に関する状況について」の資料の中で、令和2年から令和6年までの、島根県内の不登校児童・生徒数が人口1,000人あたりの数値も併せて掲載されています。これを図4-6にプロットしてはいかがでしょうか。新聞やテレビの報道で「島根県の不登校児童・生徒数は全国平均よりも高い」と聞いたことがありますが、実際にグラフへ落とし込むと島根県合計値は全国値よりも高く、江津市の数値は島根県合計値よりも高いことが分かります。
			【回答】 ご意見を踏まえ、島根県学校教育課が公表しているデータを確認し、グラフへ追加しました。
			【ご意見】 アンケート調査について（P20） このページ以降、令和8年1月に実施されたアンケート調査の結果がまとめられています。この基本方針（素案）の作成にあたって実施されたアンケート、おそらく「学校再編に関するアンケート調査」という名称で、令和8年2月12日から同年2月27日を調査期間とし、インターネット（Googleフォーム）による回答方法で行われたものだと思います。アンケートに限らず、調査結果の妥当性は調査方法の内容も加味して検討するものと思いますので、表4-11に記載されている情報以外のアンケートの概要（調査の名称、調査時期、調査方法、回収方法、調査対象の詳細（小学生は何年生以上が対象か等）、アンケート調査票（設問文や選択分など））も、巻末以降でよいので掲載してはどうでしょうか。
			【回答】 ご意見を踏まえ、調査名称、実施時期、調査方法、対象者、回答方法、調査票（設問内容等）などの概要について、巻末資料として掲載しました。
			【ご意見】 図4-8について（P20） グラフ内に渡津小学校がありませんが、回答がなかったのでしょうか。何らかの事情で掲載できないのであれば、その理由を明記したほうがよいと思います。
			【回答】 渡津小学校の回答者が1名だったため、回答者保護の観点から非公開としています。注脚にその旨を記載しました。
			【ご意見】 進学したい中学校について（P20） 2行目に「郷田小学校では約20%が町外に進学する意向があります」とありますが、P10やP24に指定校という言葉が出てくることから「郷田小学校では約20%が指定校以外に進学する意向があります」としたほうがより正確な記述ではないでしょうか。
			【回答】 ご意見を踏まえ、正確な記述に修正しました。

7月4日	嘉久志町	男性	【ご意見】 進学したい中学校について（P20） 2行目に「郷田小学校では約20%が町外に進学する意向があります」とありますが、郷田小学校の回答者数は11名（N=11）で、グラフ（図4-8）から読み取れるパーセンテージを乗じると、この約20%は11名中の2名であることが分かります。図4-8は学校ごとの回答数（N）が異なることを考慮して比較するグラフとしては間違っていないですが、郷田小学校は他校比較して指定校以外への進学意向のある児童のパーセンテージが高いのであって、そう回答した児童数（実数）が多いわけではありません。現状の記述では、郷田小学校が指定校以外への進学意向が高いように受け取られてしまう恐れがないでしょうか。他の学校も同様に計算すると、高角小は88名中4名（青陵2、桜江1、市外私立1）、桜江小は43名中2名（市外公立2）、津宮小は154名中6名（江津5、市外公立1）、川波小は40名中1名（江津1）となり、実数比較では高角小の4名や津宮小の6名が多いことが分かります。2行目の記述としては「郷田小学校では回答者のうち約20%（11名中2名）が町外に進学する意向があります」と実数（回答数）も併記したほうが、より正確に数値を伝えられると思います。また、ページ内に余白がありますので、郷田小学校以外の学校の実数も記載したほうが読み手に対して丁寧な説明になると思います。
			【回答】 ご意見を踏まえ、正確な記述に修正しました。
			【ご意見】 小学校区再編についての意向の理由（P21～P22） P21からP22にかけて、中学校区再編についての意向（図4-10）とその理由（図4-11）がありますが、小学校区の再編については意向（図4-9）のみで、その理由についての記述や図がありません。小学校区の再編についても理由（載せられない場合はその理由）を載せてはいかがでしょうか。
			【回答】 ご意見を踏まえ、小学校区再編についても意向だけでなく、その理由を掲載するよう修正しました。
			【ご意見】 図4-15「中学校進学にあたっての指定校変更の意向」について（P24） このグラフには、アンケート調査の設問に対する選択肢の一つである「小学生の子どもはいない」が含まれています。設問の意図としては、小学生の子どもを持つ保護者に「中学校進学にあたっての指定校変更の意向」をたずねているのであって、「小学生の子どもはいない」保護者の回答は除外して集計すべきではないでしょうか。
			【回答】 本設問は小学生の子どもを持つ保護者を対象とした設問であることから、「小学生の子どもはいない」の回答については分析対象から除外した方が分かりやすいと考えます。ご意見を踏まえ、「小学生の子どもはいない」の回答を除外した集計結果に修正しました。
			【ご意見】 中学校進学にあたっての指定校変更を希望する理由（高角小学校）について（P24） 図4-15において、高角小学校の保護者で「思う」と回答した人はゼロでしたが、図4-16では高角小学校の保護者による回答結果が掲載されています。図4-15の間で「思わない」や「わからない」と回答した人のうち、図4-16の設問で回答した人だと思われます。図4-16の設問は図4-15の設問で「思うと回答した人」に訊ねる条件付き設問であり、図4-16だけを見たときに与える印象（グラフだけを見れば、高角小が他校と明らかに傾向が異なる）も考慮すると、高角小保護者の回答（N=3）は除外すべきではないでしょうか。その場合は図下に「高角小学校については設問の条件に合致する回答がなかった（前の設問で「思う」との回答がなかった）」といった注脚を追加すると分かりやすいと思います。

7月4日	嘉久志町	男性	【回答】 ご指摘のとおり、図4-16は前設問で「思う」と回答した方を対象とした設問であることから、条件に合致しない回答については集計対象から除外することが適切と考えます。ご意見を踏まえ、集計方法を確認した上で、必要に応じてグラフを修正するとともに、高角小学校については条件に合致する回答がなかった旨が分かるよう注記を追加しました。
			【ご意見】 中学校進学にあたっての指定校変更を希望する理由（郷田小学校）について（P24） 図4-16の中に郷田小学校がないのは、この設問において回答がなかったからでしょうか。そうであれば、図下に注脚を追加して説明したほうが、読み手に対してより丁寧になると思います。
			【回答】 郷田小学校区の回答者が1名だったため、回答者保護の観点から非公開としています。注脚にその旨を記載しました。
			【ご意見】 小中学校における望ましい学級数【回答者：小中高生】について 2行目に「1学年2学級が望ましいという意見が最も多くなっています」とありますが、これは総計を指していて、各学校にすべてあてはまりません。「総計では1学年2学級が望ましいという意見が最も多くなっています」がより正確な記述だと思います。
			【回答】 ご意見を踏まえ「総計では1学年2学級が望ましいという意見が最も多くなっています」と修正し、より正確な表現としました。
			【ご意見】 望ましい学級数の理由について（P25～P27） 令和8年2月のアンケート調査では、望ましい学級数の設問の次に、回答ごとの理由を尋ねていましたが、その結果が掲載されていません。特に回答者間（小中高生・保護者・教職員）では回答内容（望ましい学級数の理由）について差があるように思われます。この理由は今後の学校整備の在り方に影響を与える要因（検討材料）の一つになると思うので、掲載していただけないでしょうか。
			【回答】 ご意見を踏まえ、望ましい学級数の回答理由についても整理し、資料に追加しました。
			【ご意見】 図の作成（学校別）について（P25～P27） P25～27にかけて、回答者別（小中高生、保護者、教職員）に図が作成されていますが、これとは別に学校別のグラフ（100%積み上げ棒グラフ）も作成してはいかがでしょうか。P9で現在の各校の学級数や複式学級の発生見込みについて言及があり、学校ごと、あるいは将来的な統廃合（中部の小学校など）の適正な規模を考えるためには、回答者別のグラフだけでなく、学校別のグラフも合わせてみることで、回答者間の差を読み取ることができ、基本方針を検討する材料になると思います。
			【回答】 本資料では、回答者属性（小中高生、保護者、教職員）による考え方の違いを把握することを目的として整理しており、学校別の分析結果については掲載しておりません。いただいたご意見につきましては、今後の資料作成や分析を行う際の参考とさせていただきます。

7月4日	嘉久志町	男性	【ご意見】 アンケート回答者の属性によるバイアスについて（P25～P27） 望ましい学級数の回答について、小中高生と保護者の回答にバイアスがかかっていることを考慮する必要はなかったでしょうか。小中高生なら、自分が今いる学級数を答える傾向や、保護者なら自身が過去に経験した学級数を答える傾向が出るのが考えられます。保護者の場合は回答者属性を訪ねる際に、自身が小学生、中学生だったときの学級数を回答してもらい、それをクロス分析することで、望ましい学級数の回答にどの程度バイアスがかかっているか、検討することができたと思います。学校整備再編基本計画の策定時にアンケートを実施する場合は、こういったことも配慮いただければと思います。
			【回答】 保護者を対象としたアンケート調査では、複式学級のメリット・デメリットを提示して、回答結果が、保護者の過去に経験した学級数が前提とならないように配慮しています。 小中高生を対象としたアンケート調査では、自分が今いる学級数を応える児童・生徒もいれば、自分が今いる学級数と比較して回答した児童・生徒もいると想定されます。 いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。
			【ご意見】 アンケート調査結果のクロス集計について（P21～P27） 小学校区や中学校区の再編についての回答で、「統合を検討したほうがよい」または「現状のままでよい」と回答した保護者が、その後の設問（P22「統合を検討する理由」やP23「統合を進めるうえで気になること」、P24「指定校変更の意向」、P26「望ましい学級数」）でどのように回答したか、クロス集計を行うことで傾向が出る可能性があります。素案にはそういった分析がありません。傾向がある・ないが分かることに価値があるため、クロス集計を行い、その結果を示していただきたいです。
			【回答】 クロス集計は実施しておりますが、集計表の見方は分かりにくく誤解を招く可能性もあるので、今回は掲載はいたしません。
7月4日	江津町	男性	【ご意見】 未就学児世帯の意見反映について 本計画は今後約10年間の学校整備の方向性を示す重要な計画であり、現在の未就学児は、小学校・中学校を通して大きな影響を受ける世代です。アンケートや意見聴取の対象は現在の児童・生徒や保護者が中心となっており、現状の児童生徒および保護者の考え方や意向が把握できる一方で、未就学児の保護者の意見が十分反映されているか読み取れませんでした。江津市教育大綱では、幼児教育から小学校への円滑な接続や幼小中連携を重視していることから、今後の学校整備や第3次学校整備再編基本計画の策定に当たっては、未就学児世帯の意見を把握する機会を設けることについても、ご検討いただきたいと思います。
			【回答】 ご指摘の通り、未就学児の保護者の意見は、幼小連携を図るうえでも重要と考えます。今後開催する説明会にぜひ出席いただきご意見をいただきたいと思います。なお、ご要望があれば、保育所単位での説明会も実施しますので、ご相談ください。
			【ご意見】 学校施設の整備について 第6次江津市総合振興計画では、「学校は災害時には地域住民の避難所としての役割も担う一方、その大半が建築後40年以上を経過しており、耐震対策や防災機能の強化などが求められている」とされています。 学校整備の基本方針においても、児童・生徒数や教育内容だけでなく、学校施設の老朽化対策、防災機能の強化などを重要な視点として位置付けていただきたいと考えます。また、近年は猛暑・酷暑が常態化しており、児童・生徒が安心して学ぶことのできる教育環境の確保が重要になっています。普通教室だけでなく、特別教室や体育館なども含めた暑さ対策や空調設備など、将来を見据えた教育環境の整備についても基本的な考え方に盛り込むことについて、ご検討いただきたいと思います。

7月4日	江津町	男性	【回答】 ご指摘のように、今後の学校の在り方に関しては、老朽化対策や防災の視点を取り入れることは重要であり、基本方針の中に取り入れたいと考えております。なお、現在建設を進めている青陵小学校については、防災機能を強化するとともに、避難所として位置づけられることから屋内運動場へも空調設備を設置することとしております。他の学校との教育環境の格差についても、計画的に解消して行く予定です。
			【ご意見】 アンケート結果の表現について 複数回答によるアンケート結果については、回答人数（n）を母数とした割合の表示や、集計方法についての注記を加えることで、各項目を選択した回答者の割合がより分かりやすく伝わり、資料の理解も深まるものと思います
			【回答】 ご指摘の通り、複数回答の設問につきましては、回答者数を母数としてグラフを作成する方法もありますが、各項目の割合の合計が100%を超えるケースもございます。本調査では、校区別の傾向を比較することを重視したため、視覚的に比較が容易になる延べ選択数を母数としたグラフを採用いたしました。 ご意見を踏まえ、複数回答の設問については、選択肢の延べ選択数を母数として集計している旨を注記に分かりやすく記載し、集計方法がより明確となるように修正いたします。
7月5日	渡津町	男性	【ご意見】 P1(2)、第3次江津市学校整備再編基本計画について、「学校整備の在り方に関する基本方針（令和8年度策定）に即し、学校整備の具体的な方向性を示す」としながら、すでに江津市学校整備再編基本計画検討委員会には、『第3次学校整備再編基本計画の骨子案』を示し、どの学校を統廃合するのかを示している。このパブリックコメントを実施する意味を行政自ら失わせ、市民の声に背を向ける姿勢と言わざるをえない。委員の考えをまとめるため、骨子案を提示したと説明されているが、既成事実を積み上げているようにしか見えない手法には不信感しかなく、骨子案はいったん破棄し、パブリックコメントのみならず、説明会を実施するなど、広く市民の声を聴取した上で方針を定める必要がある。
			【回答】 第3次江津市学校整備再編基本計画においては、教育環境の充実と持続可能な学校運営のため、市民の皆さまのご意見を反映させることとしています。『第3次学校整備再編基本計画の骨子案』については、あくまで検討委員会の議論を進めるための叩き台として提示したものであり、最終的な計画内容ではありません。これにより、市民の皆さまからのご意見を反映させる余地を十分に残した形で議論を進めることを目的としています。7月下旬に市内6カ所で地域で説明会を開催する予定としておりますので、皆さまの声を聴かせていただきたいと思います。
			【ご意見】 P10、想定進学者数と実進学者数の乖離について、「江東中学校における乖離率が高い（実進学者数が想定進学者数よりも少ない）ことが確認されます。これは中学校進学タイミングでの居住を伴う転居や、指定校変更などの理由が考えられます」とあるが、P20では「江東中学校区である江津東小学校では、約 2/3 が江津中学校への進学を希望する状況」とされ、その要因は、P24にある「全体として「部活動の種類や活動環境が充実している学校を希望」が31%と最も高くなっています」に示されている。これに対して、P11・P12での認定地域クラブの対応が少ない。市議会などでも、部活動・課外活動への対応を求める声を取り上げられたのに、十分な取り組みができていないのが、この回答にあらわれており、『再編』の議論の前に、現状の取り組みとして部活動や課外活動への対応をしっかりとすべき。

7月5日	渡津町	男性	【回答】 部活動の地域連携・地域展開については、本市では令和7年3月に「江津市立中学校における部活動の地域連携・地域展開に係る方針」を策定し、取り組みを進めてきました。しかしながら、本市のような地域では、受け皿となるスポーツクラブや指導者が少ないことから、認定地域クラブを中心とした部活動の地域展開は難しく、できるところから段階的に進めているところです。 特に、江東中学校区では部活動が進学希望先の選択に大きな影響を与えていると思われることから、部活動を理由とした指定校変更をしないで済むように部活動の拠点校方式を令和6年から保護者及び生徒の皆様に提案しましたが、課題解決にはいたっていない状況です。 このように、全国でも成功例が少なく、先行きが不透明な部活動の地域連携・地域展開の完成を待つのではなく、新たな再編計画を進めることが、保護者や児童・生徒の要望に応えるものと考えております。
			【ご意見】 P15、不登校児童・生徒数の推移について、不登校児が増加傾向とされているが、どの学校で増えているかで結論は変わってくる場合もある。そういったデータに加えて、不登校に至った原因も示すべき。
			【回答】 不登校児童・生徒数の推移については、どの学校で増加しているか、またその原因が何であるかを具体的に把握することは必要と考えます。しかし、不登校の理由は複雑で様々な要因が重なった結果として発生することが多く、原因を簡潔に記載することは非常に難しいと考えます。また、その数字を学校別に掲載することは、学校の不当な序列化につながり、適切ではないと考えます。不登校対策については、基本方針に掲載するのではなく、別の取り組みにより解決すべき課題と考えます。
			【ご意見】 P17、建築物の概要について、郷田小学校の老朽化が問題視されているが、これまで市議会などでも指摘されてきたのに放置していたものを、『再編』に都合良く利用しているのではないかと疑義がある。
			【回答】 郷田小学校の老朽化については、これまで市議会や市民の皆さまからも度々指摘をいただいておりますが、あまりにも老朽化が進行していることから大規模改修も困難であり、実施したとしても多額な経費が見込まれることから、これまでは故障箇所を随時修繕する対処療法で対応してまいりました。一方で、老朽化に伴う安全性や教育環境の確保は喫緊の課題であり、それを解消するための選択肢として『学校整備再編基本計画』の中で検討を進めております。 再編を進めるにあたっては、単に老朽化施設の解消を目的とするのではなく、教育環境のさらなる向上や地域との連携強化、また、将来的な学校運営の持続可能性を見据えた計画を立案することを重要視しています。決して再編に都合よく利用しているものではありません。
			【ご意見】 P20、進学したい中学校 回答者：小学生】（単一回答）について、郷田小の広い校区のうち、どの地域の児童が町外へ進学する意向なのかを示すべき。その結果によっては、データの見方や『再編』への認識も変わる。
			【回答】 基本方針の策定にあたっては、全体的な傾向を基に議論を進める必要があることから、アンケート調査は校区単位を対象としており、校区内のさらに細かい地域別のデータは収集しておりません。
			【ご意見】 P21、現在居住中の小学校区の再編についての意向【回答者：保護者】（単一回答）について、これまで郷田小の老朽化を放置してきた状況から、保護者を「統合を検討」へ誘導しているのではないかと疑義がある。